

事業名【防災施設整備事業】

事業費4,316千円（ふるさと納税活用額 971千円）

事業概要・内容

避難場所等の案内標識について、災害対策基本法の改正により、表示内容の変更が必要となったことから、表示内容を最新の情報に更新するため、標識板の交換等に活用しました。

現状・背景・課題

盛岡市では、指定避難所が191か所及び指定緊急避難場所が245か所指定されており、危険が迫った際には速やかな避難が求められます。施設の付近に表示を行うことで、緊急時だけでなく、平時から災害時の行動を考えるきっかけにもなります。

事業実績・成果

令和5年度は8箇所の標識を更新しました。避難先がどの災害に対応しているのか、分かりやすくなりました。

事業スキーム・写真



事業名 【東日本大震災復興推進事業】

事業費 1,654千円（ふるさと納税活用額 1,654千円）

事業概要・内容

東日本大震災から13年を迎えた3月11日に、盛岡広域の住民とともに震災により亡くなった方々を追悼し、あの日の記憶・教訓を語り継ぎ、想いをつないでいくため、追悼式を実施しました。震災に対する記憶の風化を防ぎ、復興への機運醸成を図るための灯ろうイベント「祈りの灯火2024～記憶を語りつぐ日～」の実施に活用しました。

現状・背景・課題

平成23年度から毎年実施。

令和5年度において、追悼式は、岩手県主催の盛岡市共催。灯ろうイベントは、盛岡広域8市町からなる盛岡広域首長懇談会が主催。牛乳パックで作る灯ろうイベントは、広域市町だけでなく、全国から賛同した個人、団体、企業から毎年約10,000個の灯ろうが集まっています。

事業実績・成果

追悼式は、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）中ホールで開催。約300人が出席し、自由献花には、約130人が訪れた。

灯ろうイベントは、もりおか歴史文化館前広場で実施し、約1,400人の参加者が集まり、鎮魂の火を灯しました。

事業スキーム・写真

